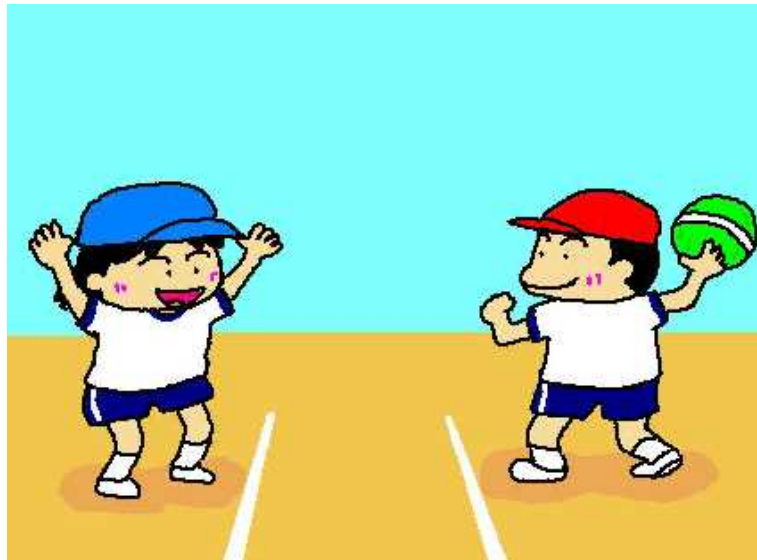


ペア種目

ペアドッジパス

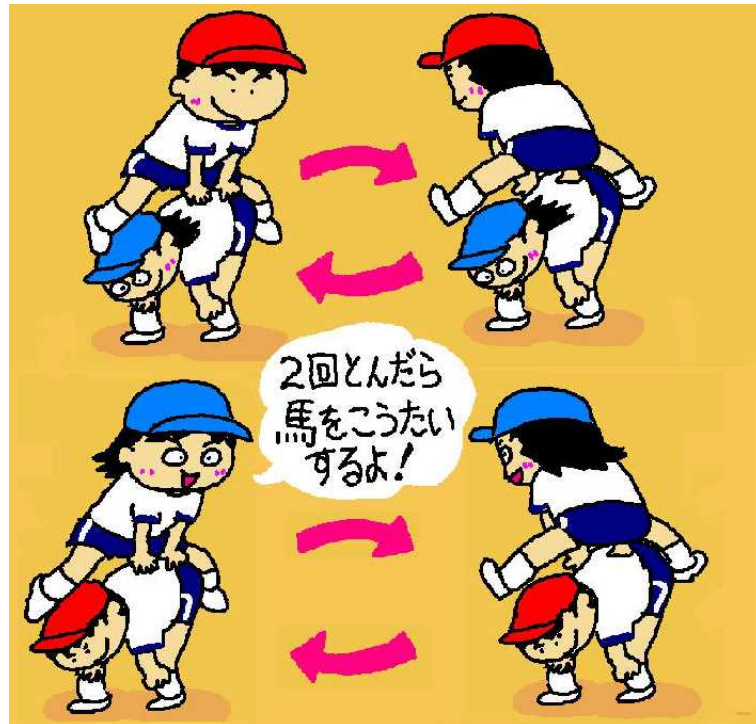


チャレンジの仕方

- 5mはなれた2本の線の外側から、1分間に何回パスをつなぐことができたかを数える。
- 投げる時は線の外側から投げ、線をふんだ時は数えない。
- パスされたボールは、必ずキャッチしてから投げ返し、はじいたりトスしたりしてはいけない。
- とどかない時や方向の違ったボールは取りに行き、元の場所にもどってから投げる。(この場合も回数に入れてよい。また、バウンドしてからとどいたパスも回数に数えてよい。なお、低学年は、ころがしパスでもよい。)
- ボールはドッジボールを使う。(号数は自由。)

ペア種目

ペア馬とび



チャレンジの仕方

- とぶ人は、両足ふみきりで両手を馬の人の背中について向こう側にとびこえ、続いて向こう側から手前に向かって跳び越え、元の場所に着地する。とんだ人と馬の人が交代し、同じことをする。
- とぶ人と馬になる人は、2回とぶごとに交代する。
- 1分間に2人合わせて何回とべたかを数える。

ペア種目

ペアなわとび

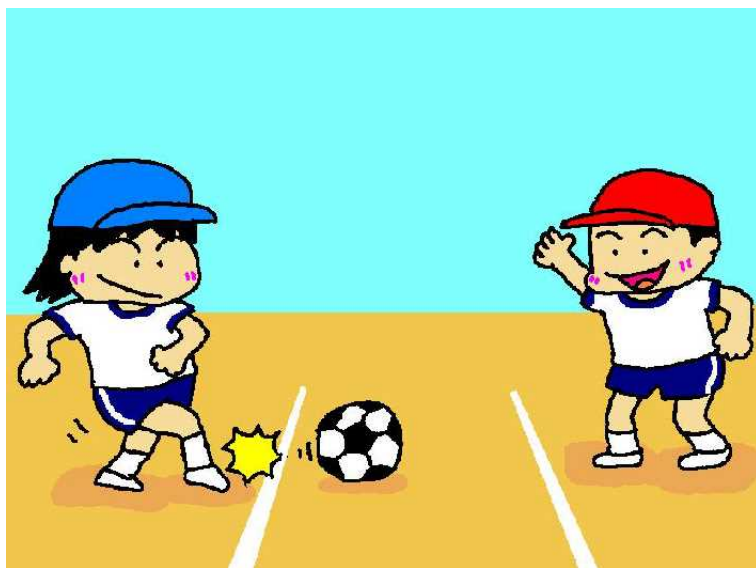


チャレンジの仕方

- 2人が横に並んで手をつなぎ、1本のなわとびの片方ずつを持って一緒にとぶ。
- 3分間に連続何回とべたかを数える。
- 2重とびはしない。

ペア種目

ペアキックパス

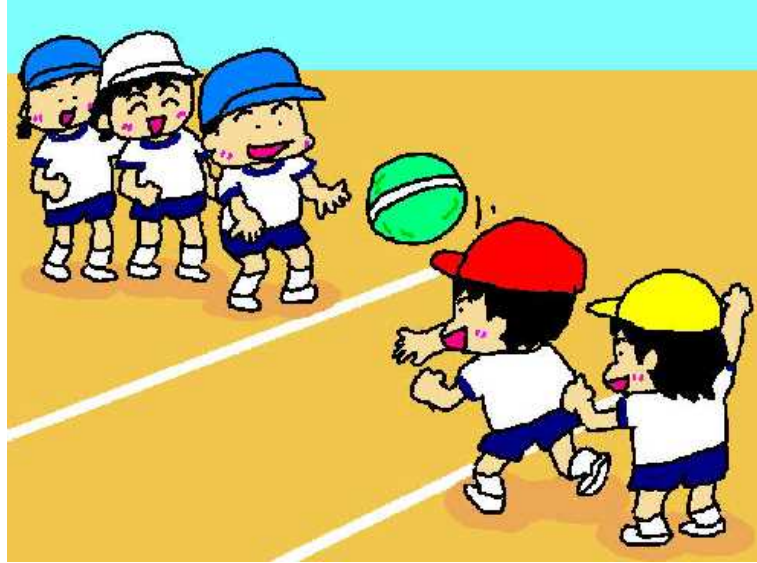


チャレンジの仕方

- 1・2年は5m、3・4年は7m、5・6年は10mはなれた2本の線の外側から、1分間に何回キックパスをつなぐことができたかを数える。
- 蹴る時は線の外側から蹴り、ボールは必ず地面を転がるようにする。線を踏んだ時は数えない。
- パスされたボールは、必ず足で止めてから蹴り、直接蹴ってはいけない。
- 届かない時や方向の違ったボールは取りに行き、元の場所にもどって蹴る。(この場合も回数に入れてよいが、ボールは足で扱う。)

グループ種目

グループドッジパス



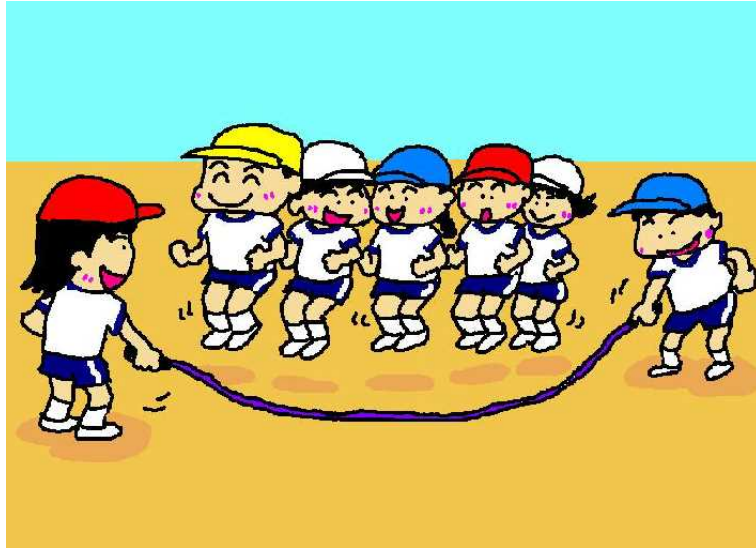
チャレンジの仕方

- グループは4人以上で行う。
- グループ(またはクラス)を2つに分け、5mはなれた2本の線の外側に1列に並ぶ。
線の外側から、3分間パスをし、全員で何回パスできたか数える。
- パスしたあとは次の人と交代し、列の一番最後に並ぶ。同じ人が続けて2回パスすることはできない。
- 投げるときは線の外側から投げ、線をふんだ時は数えない。
- パスされたボールは、必ずキャッチしてから投げ返し、はじいたりトスしたりしてはいけない。
- とどかない時や方向の違ったボールは取りに行き、元の場所にもどってから投げる。
(この場合も回数に入れてよい。また、バウンドしてからとどいたパスも回数に数えてよい。なお、低学年はころがしパスでもよい。)
- ボールはドッジボールを使う。(号数は自由。)

グループ種目

れんぞくおお

連続大なわとび

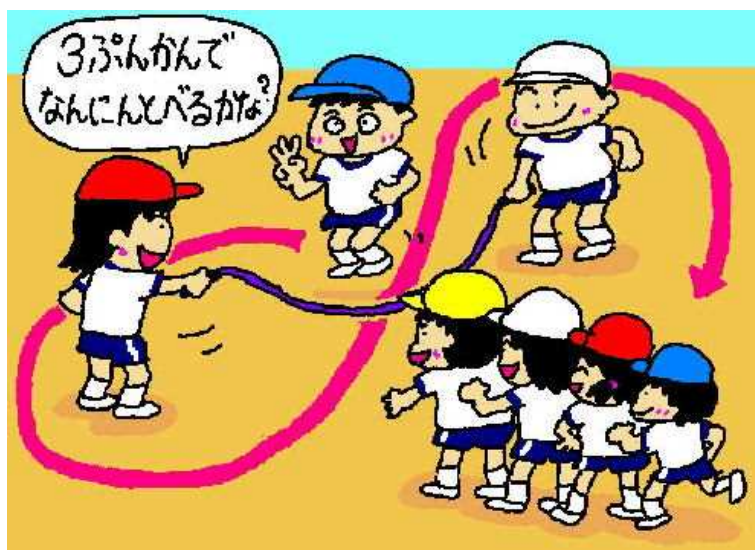


チャレンジの仕方

- とぶ人は3人以上とし、一度に全員がとぶ。
- なわの中の並び方は自由。なわを回すのは先生でもよい。
- 3分間に連続何回とぶことができたかを数える。
- ひっかかったらすぐにやりなおし、その数から続けて数える。

グループ種目

8の字大なわとび

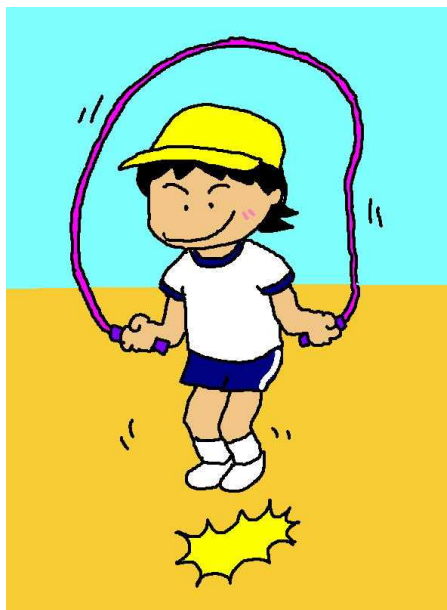


チャレンジの仕方

- なわを1回まわすごとにとぶ人は1人とし、全員が順番にとぶ。
- なわを回す人は先生でもよい。とぶ人は、全員で3人以上とする。
- 3分間にのべ何人とぶことができたかを数える。
- ひっかかったらすぐにやりなおし、その数から続けて数える。

ひとり種目

チャレンジなわとび



チャレンジの仕方

ていがくねん
〈低学年〉

- 前回^{まえまわ}しで1分間^{ぶんかん}に何回^{なんかい}とべたか^{かぞ}を数える。

ちゅうがくねん
〈中学年〉

- 前回^{まえまわ}しで2分間^{ぶんかん}に何回^{なんかい}とべたか^{かぞ}を数える。

こうがくねん
〈高学年〉

- 前回^{まえまわ}しで3分間^{ぶんかん}に何回^{なんかい}とべたか^{かぞ}を数える。

※両足^{りょうあし}とびで行うこと。二重^{おこな}とびはしない。途中^{にじゅう}でひっかかったらすぐ^{とちゅう}にやりなおし、その数^{かず}からつづ^{つづ}けて数^{かぞ}える。

ひとり種目

チャレンジ二重とび



チャレンジの仕方

- 1分間に、二重とびが何回できたかを数える。
- 時間を計り始めてからなわを回す。
- 両足とびで行い、途中でひっかかったらすぐにやりなおし、続けて数える。